

# シラバス

2024年度版



柔道整復医療科 1年

学校法人 赤門宏志学院

仙台赤門医療専門学校

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	美濃谷 厚司 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	柔道整復基礎理論Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	月曜日 9:10～

<b>【授業概要・目標】</b> 柔道整復術・学における基礎的な治療方法(指導管理を含む)を学習する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	(整復法)A徒手整復施行時の配慮
2	(整復法)B骨折の整復法
3	(整復法)C脱臼の整復法 D徒手整復後の確認と配慮
4	(整復法)E軟部組織損傷の初期処置
5	(固定法)A固定施行時の配慮
6	(固定法)B固定後の配慮
7	整復から固定までの復習及び小テスト
8	(後療法)A用量 B患者の準備 C手技療法
9	(後療法)D運動療法
10	実技(ストレッチ)
11	(後療法)E物理療法 1分類 2安全対策 3主要な物理療法
12	(後療法)3主要な物理療法①
13	(後療法)3主要な物理療法②
14	(後療法)3主要な物理療法③
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	(後療法)3主要な物理療法④
2	(後療法)3主要な物理療法⑤
3	(後療法)4主要な物理療法⑥
4	物理療法実技①
5	物理療法実技②
6	(指導管理)1日常生活動作、環境の指導管理
7	(指導管理)2住宅環境に対する指導管理から最後まで
8	小テスト及び問診
9	問診
10	(外傷予防)1身体の基礎的状态の評価と対応
11	(外傷予防)2付帯する環境要因の評価と対応
12	(外傷予防)3外傷予防啓発などの教育活動
13	(外傷予防)4メンタルを保つ活動
14	(外傷予防)特異的予防
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	後期評価点検

<b>評価方法</b>	出席、授業態度、定期試験、小テスト、課題(レポート)の総合評価とする。
<b>授業の進め方</b>	身体構造や機能(解剖学・生理学)を復習しながら、柔道整復の基礎的な治療方法や患者対応を学ぶ。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	新たに学ぶ用語、実技をしっかり復習すること。自身のノート作りをしてください。
<b>テキスト・参考書</b>	柔道整復学理論編、その他実技編、包帯固定学

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	金田一 孝二	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	月曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**  
 正常な人体の形態と構造を理解する。特に、細胞と組織、内臓系について学習する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	解剖学概説: 解剖学の意義・分類・用語
2	細胞-組織-器官-系についての概説
3	細胞1 形態と内部構造 核、DNA 細胞小器官
4	細胞2 細胞周期と細胞分裂
5	細胞3 上皮組織1
6	細胞4 上皮組織2
7	細胞5 支持組織1
8	細胞6 支持組織2
9	細胞7 骨組織総論
10	細胞8 筋組織総論
11	細胞9 神経組織総論
12	受精と発生1
13	受精と発生2
14	人体の区分
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	内臓系 総論
2	消化器系1 口唇・口腔・舌
3	消化器系2 歯・唾液腺
4	消化器系3 咽頭・食道・胃
5	消化器系4 小腸・大腸・肛門
6	消化器系5 肝臓・膵臓・胆嚢
7	呼吸器系 鼻腔・咽頭・喉頭・ 気管・気管支・肺
8	泌尿器系 腎臓・尿管・膀胱・尿道
9	生殖器系1 男性生殖器
10	生殖器系2 女性生殖器
11	内分泌系
12	体表解剖1 体表区分 骨格系概説
13	体表解剖2 筋系・脈管系概説
14	生体計測・映像解剖
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	筆記試験、出席状況、授業態度、小試験、課題提出の総合評価とする。
<b>授業の進め方</b>	教科書中心の講義ではあるが、教科書に記載のない事項まで言及する。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	高校程度の生物学の知識は必要である。解剖学は決して暗記科目ではなく、理解することが大事である。予習復習を確実にし、授業に参加すること。課題の提出期限は厳守すること。
<b>テキスト・参考書</b>	解剖学 改訂第2版(医歯薬出版)、その他、随時紹介する。

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	石垣寛高 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	臨床実習 I	<b>曜日・時間</b>	月曜日 3・4時限(後期)

<b>【授業概要・目標】</b>	
①患者への接遇ができる。 ②基本的な施術準備ができる。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

<b>評価方法</b>	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
<b>授業の進め方</b>	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	積極的に実習に参加してもらいたい。
<b>テキスト・参考書</b>	なし

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	國分 壮一 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	火曜日 9:10～

<b>【授業概要・目標】</b> 人体の構造と機能について理解できる。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	意義と分類
2	細胞および組織
3	器官系統
4	人体の区分
5	骨の総論
6	胸郭の骨
7	胸郭の骨
8	上肢の骨
9	上肢の関節
10	下肢の骨
11	下肢の関節
12	骨の復習Ⅰ
13	骨の復習Ⅱ
14	骨の復習Ⅲ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	筋の総論
2	頭部の筋
3	頸部の筋
4	胸部の筋
5	腹部の筋
6	背部の筋
7	上肢の筋Ⅰ
8	上肢の筋Ⅱ
9	下肢の筋Ⅰ
10	下肢の筋Ⅱ
11	筋の復習Ⅰ
12	筋の復習Ⅱ
13	筋の復習Ⅲ
14	予備日
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	後期評価点検

<b>評価方法</b>	出席・定期試験・ミニテストにより評価する。
<b>授業の進め方</b>	授業前に配布するプリントとプレゼンテーションにより行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習は必要ないが、授業中に理解できるように集中して聞いてほしい。また復習が望ましい。
<b>テキスト・参考書</b>	テキスト・参考書: 指定された教科書を用いる。

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	前期)守田 匡伸 後期)吉武 淳	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	衛生学・公衆衛生学	<b>曜日・時間</b>	火曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**  
 公衆衛生学は、健康の維持・増進および疾病の予防を目指す学問であり、疾病の発生要因を社会との関連から追求し、その予防対策を立てることを目指している。本講では生活習慣病やがんを中心に疾病の発生要因について基本的な知識を学びつつ、予防について考えてみたい。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	衛生学の成り立ちと歴史
2	寿命と健康寿命
3	日本の死因
4	疾病予防と健康管理
5	生活習慣病総論
6	生活習慣病各論
7	ガンの疫学
8	ガンの生物学-1
9	ガンの生物学-2
10	疫学-1
11	疫学-2
12	疫学-3
13	食中毒総論
14	食中毒各論
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	感染症総論・感染症と病原体
2	感染症総論・免疫
3	感染症各論
4	消毒
5	環境衛生学総論
6	地球環境と環境衛生学①
7	地球環境と環境衛生学②
8	精神保健
9	栄養と健康
10	運動と栄養
11	母子保健・学校保健
12	産業衛生学・職業病
13	高齢者保健と国際保健
14	倫理
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期筆記試験の比重を9割程度とし、講義中に行うミニトーパー(講義に対する理解を確認するミニレポート)を若干考慮する。
<b>授業の進め方</b>	講義形式を中心に構成し、自由記載のミニレポートを必要に応じて実施し、自ら記述することで知識の習得を目指す。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	質問など積極的な参加を期待する。
<b>テキスト・参考書</b>	教科書に加え、適宜、配布資料を用いて講義を行う。

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	大槻 健蔵	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	自然科学概論(半期)	<b>曜日・時間</b>	前期) 火曜日 13:10~

<b>【授業概要・目標】</b>			
<p>(1)我が国は、大地震と津波だけでなく地球温暖化が進み「異常気象」による巨大台風や豪雨による大災害が多発している。被災時の「身の安全」を第一に、被災住民へのボランティア活動(特に体力、知力と協力のある学生達)の重要性を知る。</p> <p>(2)生命体を構成する細胞の増殖の仕組みと遺伝情報(遺伝子)の発現(タンパク質の合成)および「タンパク質(機能性因子)の生理機能」を理解する。</p> <p>(3)病原微生物(細菌とウイルス)による感染症の発症と世界的な拡大を理解する。</p> <p>(4)多種多彩な食品添加物、農薬、化粧品、人工甘味料や香料などの過剰摂取による「危険性とがん化の促進」を正確に理解して、安全な範囲内で上手く活用する。</p> <p>(5)ヒトの「健康」は、「免疫(生体防御)」によって維持されていることを理解する。</p> <p>最終的に「自然科学概論」とは、どんなことを学ぶ「教科」かを理解する。</p>			

<前期>	
回	授業テーマ
1	序論-1. 地球温暖化の要因、異常気象による自然災害の多発および生態系の変化
2	2. 能登半島地震と東日本大地震から学ぶべき重要課題および被災住民への支援協力の重要性、さらに近い将来予測されている南海トラフ巨大地震
3	3. 世界の環境汚染(大気汚染、PM2.5汚染、有機フッ素化合物(PFAS)やプラスチックゴミの海洋汚染など)による「健康問題と安全な飲料水や食材の確保」
4	各論-1. 生命の誕生と多様な生物種への「進化」および生命活動(細胞増殖、代謝と遺伝子発現)の仕組み
5	2. 生物に重要なタンパク質(機能性因子)の種類と化学的特徴および生理機能
6	3. 自然界と体内に生存する多種多様な「微生物」の生物学的特徴と生理的役割
7	4. DNAとRNAウイルスの生物学的な特徴(違い)、細胞内での「ウイルス増殖の仕組み」および感染症を世界に拡大させる変異株の特徴(感染力)
8	5. 食中毒を起こす「細菌とウイルス」の特徴、食材と感染ルートおよび予防策
9	6. 性感染症の「起因微生物の特徴と感染拡大の要因」および感染予防
10	7. 彩色野菜、果物、緑茶やコーヒーなどに多く含むフィトケミカル(ポリフェノール化合物:非栄養素)の化学的特徴と抗酸化作用の重要性
11	8. 多種多彩な食品添加物、農薬、化粧品や人工甘味料と香料などの長期間の過剰摂取による「アレルギー症、免疫低下やがん化の促進」
12	9. タバコの「副流煙」に含まれる多様な有害物質の「健康害と発がん作用」
13	10. 生体防御(免疫)の仕組みと免疫の調節に対する体温、運動、睡眠、加齢やストレスなどによる様々な作用効果および「ワクチン」の感染症予防
14	11. 様々な薬剤の「薬理作用と副作用」および「正しい使い方(活用法)」 12. 全授業内容の「まとめ」の配布(本教科の試験勉強に活用して下さい)
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	13. 試験は、記述による説明で行い採点結果を「評価」します。成績不良の皆さんに対して再試験前に正確な理解と記述による説明の仕方を解説します。

<b>評価方法</b>	筆記試験の成績、積極的な質問回数および出席日数により総合的に「評価」する。
<b>授業の進め方</b>	配布資料を用いてPower pointで行います。毎回、「質問の時間」を設けます。配布資料は毎回数日前に配布しますので、予めよく見てから授業に臨んで下さい。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	授業では、どんなことでも遠慮なく「質問」して正確に理解する様にして下さい。
<b>テキスト・参考書</b>	<p>下記の「参考書」に興味ある方は、大槻に早めに申し出て下さい(本をお貸します)。</p> <p>1)「やさしい基礎生物学」南雲 保編集 羊土社(2017年3月、第4刷発行)</p> <p>2)「がん細胞の誕生」黒木登志夫著 朝日選書(1989年8月)</p> <p>3)「遺伝子が語る生命像」現代人のための最新 本庶 佑著Blue Backs(2013年1月)</p> <p>4)「腸内細菌の役割」藤田紘一郎著(腸内細菌に関する著書多数あり、2015年1月)</p> <p>5)「これならわかる免疫学」安保 徹著 ナツメ社(2010年8月)</p> <p>6)「ガンより怖い薬剤耐性菌」三瀬勝利、内山一也著 集英社新書(2017年6月)</p>

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	和泉 博之	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	生理学 I	<b>曜日・時間</b>	火曜日 前期14:50～、後期13:10～

**【授業概要・目標】**  
 人体の生理機能についてその意義と機構を理解する。  
 生理機能の基礎と調節機構を中心に授業する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	生理学とは、
2	細胞内小器官、核、細胞膜
3	ホメオスタシス、内部環境の恒常性、物質の移動、体液
4	血液の役割、血液型、血漿
5	赤血球、白血球、血小板、
6	血液凝固、血液型、線容系
7	体循環、肺循環
8	心臓の構造、興奮(刺激伝導系)
9	心臓の神経支配、血管の分類、心音
10	心電図の波形と働き
11	心周期、血圧の測定・血圧の決定因子
12	循環調節、リンパ循環
13	局所循環
14	前期の総まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	呼吸-1 呼吸の構造
2	呼吸-2 換気の仕組み、換気量
3	呼吸-3 ガス交換
4	呼吸-4 呼吸の調節
5	消化-1 消化器系の構成と働き
6	消化-2 食物の消化と吸収
7	消化-3 各栄養素の消化と吸収
8	体温-1 熱産生、熱放散
9	体温-2 体温調節
10	体温-3 発熱とうつ熱
11	排泄-1 腎臓の構造と機能
12	排泄-2 尿の生成
13	排泄-3 腎血流量
14	排泄-4 腎臓による体液調節
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験(筆記試験)と各单元ごとの小テストで判定
<b>授業の進め方</b>	板書、過去問題、ビデオを駆使して平明な講義
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習、復習と理解できないところは質問をすること
<b>テキスト・参考書</b>	



# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	原田 淳 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	手技療法 I (前期)	<b>曜日・時間</b>	前期) 水曜日 9:10~

<b>【授業概要・目標】</b>	
介護保険制度・機能訓練指導員の基礎的知識・技術・機能訓練計画表を学習すること。	
1. 介護保険制度を習得する。	
2. 機能訓練指導員としての必要な知識を習得する。	
3. 介護計画表を基に機能訓練計画表を作成し機能訓練を行う知識・技能を習得する。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	自己紹介・授業の説明
2	P123 第11章機能訓練指導員と機能訓練
3	D「機能訓練」の対象となる「障害」の捉え方
4	E機能訓練指導員の業務
5	G機能訓練の評価
6	H個別機能訓練実施計画書
7	I機能訓練指導員の保持すべき知識・能力
8	実技
9	J福祉用具の知識
10	実技
11	第12章機能訓練で提供する運動と要点
12	B器具を用いない運動
13	実技
14	C簡単な器具を用いて行う運動
15	前期復習

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

<b>評価方法</b>	実技試験を行います。実技試験の中には、口頭試問、授業態度・服装等が含まれます。柔道整復施術的手技療法・介護的機能訓練法 前期試験・実技とも65点以上を合格とします。
<b>授業の進め方</b>	機能訓練指導員を理解する為に、介護保険制度・老人の心理・老化とは何かを理解する必要があります。教科書とPowerPointで説明します。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	介護保険制度では柔道整復師は機能訓練指導員となります。これからの柔道整復師は多様化が求められ、接骨・整骨院を開業しながら介護施設を行う、介護施設を経営する、介護施設に就職する等の選択肢があります。そのためには介護保険制度を理解し機能訓練指導員とは何かを習得して下さい。教科書1冊を15時限で理解して頂きますので予習が必要です。教科書「柔道整復師と機能訓練」各項目を授業前に読んで来て下さい。

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

## テキスト・参考書

教科書:『柔道整復師と機能訓練』全国柔道整復学校協会(南江堂)  
『柔道整復学 理論編』全国柔道整復学校協会(南江堂)  
『柔道整復学 実技編』全国柔道整復学校協会(南江堂)

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	美濃谷 厚司 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	手技療法 I (後期)	<b>曜日・時間</b>	後期) 水曜日 9:10~

**【授業概要・目標】**  
 手技実技の基礎 固定方法・施術にあたっての基礎

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1		1	関節可動域の復習
2		2	手技 意義・理論 ①
3		3	手技 意義・理論 ②
4		4	手技 軽擦 ①
5		5	手技 軽擦 ②
6		6	手技 揉捏 ①
7		7	手技 揉捏 ②
8		8	手技 圧迫 ①
9		9	手技 圧迫 ②
10		10	手技 運動法 ①
11		11	手技 運動法 ②
12		12	ストレッチング ① 体幹 上肢
13		13	ストレッチング ② 体幹 下肢
14		14	実技試験
15		15	評価点検

<b>評価方法</b>	授業態度・レポート・実技の総合評価
<b>授業の進め方</b>	実技は極力個人で対応する。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	積極的・意欲的に授業を受けて欲しい
<b>テキスト・参考書</b>	

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	笹野 泰之	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	解剖学 I	<b>曜日・時間</b>	水曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**  
 神経系、感覚器系および脈管系の解剖学について講義する。教科書の該当箇所に記載されている内容を理解し、知識として定着させることを目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	神経系総論 1
2	神経系総論 2
3	脊髄
4	延髄 橋 中脳
5	小脳 間脳
6	大脳皮質
7	大脳髄質 大脳核
8	脳室系 髄膜と脳脊髄液
9	末梢神経総論
10	脊髄神経総論
11	頸神経叢・腕神経叢
12	胸神経・腰神経叢
13	仙骨神経叢(1)
14	仙骨神経叢(2) 前期授業のまとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	脳神経総論
2	脳神経各論(1)
3	脳神経各論(2)
4	脳神経各論(3)
5	自律神経系
6	伝導路
7	感覚器
8	血液 脈管系総論
9	心臓
10	動脈系 1
11	動脈系 2
12	静脈系
13	リンパ系
14	後期授業のまとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	出席と前期試験および後期試験の成績による。
<b>授業の進め方</b>	教科書の内容に沿って進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	十分に復習すること。
<b>テキスト・参考書</b>	解剖学 改訂第2版 公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修 医歯薬出版

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	亀井 啓 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	柔道整復基礎実技 I	<b>曜日・時間</b>	水曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b> 柔道整復術(固定法)の基礎を身につける。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 授業について
2	柔整理論用語練習(読み書き)、 学習方法指導
3	固定法(座学、固定材料紹介)
4	包帯固定学(基本包帯法)
5	包帯固定学(基本包帯法)
6	包帯固定学(基本包帯法)
7	包帯固定学(基本包帯法)
8	包帯固定学(基本包帯法)
9	包帯固定学(テーピング)
10	包帯固定学(テーピング)
11	包帯固定学
12	前期実技試験内容説明
13	前期実技試験
14	前期実技試験(予備日)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期授業内容復習(実技復習試験)
2	柔整理論用語復習(読み書き)、 人体の構造
3	「手技療法」の柔整理論での分類と 基本型
4	手技療法基本型を術者役と患者役で 実践①
5	手技療法基本型を術者役と患者役で 実践②
6	手技療法基本型を術者役と患者役で 実践③
7	柔道整復(整復)
8	柔道整復(整復)
9	包帯固定学(テーピング含む)
10	包帯固定学(テーピング含む)
11	包帯固定学(テーピング含む)
12	後期実技試験内容説明
13	後期実技試験
14	後期実技試験(予備日)
15	後期評価点検

<b>評価方法</b>	実技試験、授業態度、出席日数などで総合評価します。
<b>授業の進め方</b>	前回授業の復習をしながら基礎を中心に各回授業に繋げる。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	柔整基礎(総論)に則り、逸脱しないよう注意する。
<b>テキスト・参考書</b>	柔道整復学理論編・実技編。包帯固定学

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	菅原 祐子	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	英語	<b>曜日・時間</b>	木曜日 9:10～

<b>【授業概要・目標】</b>			
①柔道整術師としての日本語を母語としない患者への英語での適切な対応を理解する			
②柔道整術師としての日本語を母語としない患者への英語での対応を練習し、実践できるようになる			
③柔道整術師として必要な英語(専門用語、英語コミュニケーション力等)を習得する			

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	シラバスの説明等
2	0. 柔道整復について説明するための表現① 1. 受付のための表現①
3	0. 柔道整復について説明するための表現② 1. 受付のための表現②
4	2. 医療面接のための表現①
5	2. 医療面接のための表現②
6	3. 身体観察・評価のための表現①
7	3. 身体観察・評価のための表現②
8	4. 評価告知のための表現①
9	4. 評価告知のための表現②
10	5. 施術開始時、施術中の凡庸的表現① 6. 整復の施術のための表現①
11	5. 施術開始時、施術中の凡庸的表現② 6. 整復の施術のための表現②
12	7. 固定の施術のための表現①
13	7. 固定の施術のための表現②
14	0～7の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	8. 物理療法の施術のための表現①
2	8. 物理療法の施術のための表現②
3	9. 運動療法の施術のための表現①
4	9. 運動療法の施術のための表現②
5	10. 手技療法の施術のための表現①
6	10. 手技療法の施術のための表現②
7	11. 処置・施術後の表現①
8	11. 処置・施術後の表現②
9	12. 会計のための表現①
10	12. 会計のための表現②
11	0～12の実践練習①
12	0～12の実践練習②
13	0～12の実践練習③
14	8～12の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	テスト 60%、提出資料 20%、参加態度 20%
<b>授業の進め方</b>	各章ごとに以下通り授業を行います。 ①Small Talk→単語練習→課題→Communicative Pair Work ②Small Talk→単語練習→①の復習→Communicative Pair Work, Role Play
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	どの言語も実際使い、間違えながら覚え、正しく使って自信をつけることの繰り返しで使い物にしていくものです。教員は学生が積極的に英語を使える環境を提供しますので、学生は積極的に英語を使ってください。

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

テキスト・参考書

「柔道整復師のための英語会話表現」 医歯薬出版株式会社  
塩川 春彦 執筆代表 / 杉山 渉・小黒 正幸 監修

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	石垣 寛高 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	柔道整復基礎実技Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 10:50～

<b>【授業概要・目標】</b> 柔道整復師に必要な基礎的な知識・技術の習得
---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	オリエンテーション
3	診察法-01
4	診察法-02
5	診察法-03
6	診察法-04
7	診察法-05
8	診察法-06
9	診察法-07
10	診察法-08
11	診察法-09
12	診察法-10
13	実技試験
14	実技試験
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	実技総合-01
2	実技総合-02
3	実技総合-03
4	実技総合-04
5	実技総合-05
6	実技総合-06
7	実技総合-07
8	実技総合-08
9	実技総合-09
10	実技総合-10
11	実技総合-11
12	実技総合-12
13	実技試験
14	実技試験
15	評価・点検

<b>評価方法</b>	実技試験、出席、授業態度、課題提出、筆記試験の総合で判定する。
<b>授業の進め方</b>	実技、内容の確認
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	毎回内容の予習と復習をしっかりとすること。
<b>テキスト・参考書</b>	柔道整復学理論編 柔道整復学実技編 問診診察ハンドブック



# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	石垣 寛高 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	柔道整復基礎理論 I	<b>曜日・時間</b>	金曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b> 柔道整復師に必要な知識の習得	
------------------------------------	--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	人体の構造-1
3	人体の構造-2
4	診察-1
5	診察-2
6	概説
7	損傷時に加わる力
8	痛みの基礎
9	骨の損傷-1
10	骨の損傷-2
11	骨の損傷-3
12	骨の損傷-4
13	骨の損傷-5
14	復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	骨の損傷-5
2	骨の損傷-6
3	骨の損傷-7
4	骨の損傷-8
5	頭部・顔面骨折-1
6	頭部・顔面骨折-2
7	頭部・顔面脱臼
8	脊椎骨折・脱臼-1
9	脊椎骨折・脱臼-2
10	脊椎骨折・脱臼-3
11	脊椎骨折・脱臼-4
12	復習
13	復習
14	復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	小テスト、課題、授業態度、筆記試験
<b>授業の進め方</b>	座学を中心に実技も行う
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習復習をしっかりとすること。
<b>テキスト・参考書</b>	柔道整復学理論編 柔道整復学実技編 解剖学 生理学

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	豊嶋 良一 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	柔道 I	<b>曜日・時間</b>	金曜日 13:10～

**【授業概要・目標】**  
 礼法や受け身など、柔道における基礎を中心に授業を行います。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション、授業の進め方(礼法と回転運動(受身含む)は毎授業実施)
2	後受身、前受け身
3	後受身、前受け身、前方回転受身
4	後受身、前受け身、前方回転受身
5	前方回転受身、手技一 ①(浮落)指導、練習
6	投の形 手技一 ①(浮落)②(背負投)指導、練習
7	投の形 手技一 ②(背負投)③(肩車)指導、練習
8	投の形 手技一 ③(肩車)腰技一①(浮腰)指導、練習
9	投の形 腰技一①(浮腰)指導、練習
10	受け身、投の形 手技3本、 腰技(浮腰)指導、練習
11	受け身、投の形 手技3本、 腰技(浮腰)指導、練習
12	前期実技試験内容説明、練習
13	前期実技試験一①
14	前期実技試験(予備日)
15	前期実技試験評価点検、 柔道の歴史や変遷

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期習得内容復習 (礼法、受け身、投の形(手技))
2	前期習得内容復習 (礼法、受け身、投の形(手技))
3	投の形 腰技一② (払腰)指導、練習
4	投の形 腰技一 ③(釣込腰)指導、練習
5	投の形 足技一 ①(送足払)指導、練習
6	投の形 足技一 ②(支釣込足)指導、練習
7	投の形 足技一 ③(内股)指導、練習
8	投の形 手技3本指導、練習、 投技について
9	投の形 腰技3本指導、練習、 投技について
10	投の形 足技3本指導、練習、 投技について
11	投の形 手技、腰技、足技指導、 練習
12	後期実技試験内容説明、練習
13	後期実技試験一①
14	後期実技試験(予備日)
15	後期実技試験評価点検、 柔道の歴史など(国試内容含む)

<b>評価方法</b>	実技試験、授業態度、出席日数にて総合評価する。
<b>授業の進め方</b>	礼法礼節、受け身を中心に柔道の基礎を習得を目指します。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	柔道実技では怪我をしないように毎回真剣に取り組むことを望みます。
<b>テキスト・参考書</b>	「投の形」と投技(乱取り)は講道館のDVDを使用します。

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 武彦 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	柔道整復基礎理論Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b> 柔道整復師に必要な知識の習得
------------------------------------

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 概説
2	Ⅱ-4-2. 関節の損傷(捻挫、脱臼) - (1)骨系
3	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (2)骨系
4	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (3)骨系
5	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (4)筋系
6	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (5)筋系
7	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (6)筋系
8	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (7)筋系
9	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (8)神経系
10	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (9)神経系
11	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (10)神経系
12	前期復習 <総合>-1
13	前期復習 <総合>-2
14	前期復習 <総合>-3
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (11)前期復習
2	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (12)症状
3	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (13)治癒機序
4	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (14)治療法
5	Ⅱ-4-2. 関節の損傷 - (15)治療法
6	Ⅲ-3. 各論(軟部組織損傷)-(1)頭部
7	Ⅲ-3-2. 各論 - (2)頸部
8	Ⅲ-3-3. 各論 - (3)胸部
9	Ⅲ-3-4. 各論 - (4)背部
10	Ⅲ-3-5. 各論 - (5)腰部
11	後期復習 <総合>-1. 総論
12	後期復習 <総合>-2. 脱臼
13	後期復習 <総合>-3. 軟部組織損傷
14	後期復習 <総合>-4. 軟部組織損傷
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

<b>評価方法</b>	出席、授業態度、定期試験、小テスト、課題(レポート)の総合評価とする。
<b>授業の進め方</b>	身体構造や機能(解剖学・生理学)を復習しながら、柔道整復の基礎的な治療方法や患者対応学ぶ。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	新たに学ぶ用語、実技をしっかりと復習すること。自身のノート作りをしてください。
<b>テキスト・参考書</b>	柔道整復学理論編、実技編、包帯固定学、解剖学、生理学

# 2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	工藤 忠明	<b>学科・年</b>	柔道整復医療科 1年
<b>科目名</b>	生理学Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	金曜日 14:50～

**【授業概要・目標】**  
 生理学は、人体の正常な機能に対する理解を深めることを目標とする。特に、「生理学Ⅱ」では体液・神経系・筋・運動・感覚・内分泌・生殖・骨の働きについて学ぶ。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	導入・神経系の成り立ち
2	ニューロンの構造と働き
3	神経線維の興奮
4	神経線維の興奮の伝導
5	神経線維の興奮の伝達
6	末梢神経系-1
7	末梢神経系-2
8	中枢神経系-1
9	中枢神経系-2
10	自律神経系-1
11	自律神経系-2
12	神経伝達物質とその受容体
13	筋肉-1
14	筋肉-2
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	運動(総論)
2	運動(脊髄)
3	運動(脳幹)
4	運動(小脳・大脳基底核)
5	感覚(総論)
6	感覚(体性感覚)
7	感覚(内臓感覚)
8	感覚(特殊感覚)
9	内分泌-1
10	内分泌-2
11	内分泌-3
12	内分泌-4
13	生殖
14	骨の働きと骨代謝
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

<b>評価方法</b>	期末試験(前期・後期)による。
<b>授業の進め方</b>	教科書・スライド・プリント・レポート課題(講義ごとに出題する)を中心に進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	生理学の講義内容は多岐にわたる。教科書の予習、配布プリントの復習、レポート課題の提出を欠かさず行うことが望ましい。
<b>テキスト・参考書</b>	標準の教科書を使用する。

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	業務内容
解剖学Ⅱ	1	60	国分 壮一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
柔道Ⅰ	1	60	豊嶋 良一	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復基礎理論Ⅰ	1	60	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復基礎理論Ⅱ	1	60	石垣 寛高	10年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復基礎理論Ⅲ	1	60	美濃谷 厚司	20年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復基礎実技Ⅰ	1	60	亀井 啓	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸の臨床をおこなっている。
柔道整復基礎実技Ⅱ	1	60	石垣 寛高	10年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
手技療法Ⅰ(前期)	1	60	原田 淳	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
手技療法Ⅰ(後期)			美濃谷 厚司	20年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅰ	1	45	石垣 寛高	10年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
一般臨床医学Ⅰ	2	60	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
医療概論	2	30	石垣 寛高	10年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道Ⅱ	2	60	豊嶋 良一	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
社会保障制度	2	15	豊嶋 良一	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復応用理論Ⅰ	2	60	亀井 啓	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸の臨床をおこなっている。
柔道整復応用理論Ⅱ	2	60	豊嶋 良一	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復応用理論Ⅲ	2	60	相澤 久敏	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復応用理論Ⅳ	2	60	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
手技療法Ⅱ	2	60	亀井 啓	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅱ	2	45	石垣 寛高	10年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅲ	2	45	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道Ⅲ	3	35	豊嶋 良一	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復臨床理論Ⅰ	3	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復臨床理論Ⅱ	3	60	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復臨床理論Ⅲ	3	60	石垣 寛高	10年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復臨床理論Ⅳ	3	60	太田 作郎	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復臨床理論Ⅴ(前期)	3	60	原田 淳	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復臨床理論Ⅴ(後期)			太田 作郎	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復応用実技Ⅰ	3	60	亀井 啓	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸の臨床をおこなっている。
柔道整復応用実技Ⅱ	3	60	石垣 寛高	10年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復応用実技Ⅲ	3	60	石垣 寛高	10年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復臨床実技Ⅰ	3	60	佐々木 賢	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
柔道整復臨床実技Ⅱ	3	60	太田 作郎	30年以上	接骨院を開業した経験を持ち、現在も接骨院で柔道整復の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅳ	3	45	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
合計		1760			